

## 歯科と麻酔の歴史

# 麻酔の発見史から ～扉を開いた歯科医師～

演者: 渋谷 鑛

(日本大学松戸歯学部長、  
日本大学教授松戸歯学部歯科麻酔学講座教授、  
日本歯科医史学会理事長)



William T.G. Morton  
(1819-1868)  
米国の歯科医師

今この一瞬、世界中でどれだけの人々がこの麻酔法の恩恵を受けているだろうか。麻酔は人々に最高の福音をもたらしている。人類史上、これだけのはかりしれない恩恵をうけているものはない。その開発が歯科医師の手で行われたという史実はあまり知られていない。また、局所麻酔薬の開発はそれから50年余り遅れて1880年代まで待たなければならないという史実があったことも。麻酔法の発見者としての歯科医師の功績と当時のエピソードを辿ってみたい。

日時: 10月27日(日) 16:00～17:00

場所: 岡山コンベンションセンター 2F 展示ホール(D会場)



1846年、マサチューセッツで行われたはじめてのエーテル麻酔公開実験の様子。横たわる患者の上に描かれているのがWilliam T.G. Mortonである。

お問い合わせ先: 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
歯科麻酔・特別支援歯学分野 宮脇卓也

086-235-6721

